



TOP MESSAGE



ポジティブな発想と
チャレンジこそが
その明日の未来をつくる。

代表取締役
若里 敏行

MESSAGE

新型コロナウイルスの感染が世界規模に拡大し、1年半にも及ぶ活動制約で、人、物の動きが停滞し世界経済に大きな傷跡を残しました。ワクチン接種の進展により、活動制限の緩和や経済回復への取り組みが加速し、日常が戻りつつあります。また、開発が進められている経口治療薬が普及すれば、多くの患者さんが治療できるようになる為、医療逼迫の軽減や早期治療によって重症化を防ぐことが期待されます。



さて、今年3月には沖縄アリーナが完成し、沖縄アリーナを核とした街づくりが期待されております。その一環として当社にてコザ運動公園サッカー場跡地へホテル・コンビニ・駐車場を整備するプロジェクトが始動しました。このプロジェクトは当社にとって初めての大規模な事業であり、新たなチャレンジであることは間違いありません。本事業に取り組んでいく事が社会や地域への持続的な貢献、組織として継続的に発展していけるものと確信しています。このプロジェクトをなんとしても成功させ、地域社会に貢献し、すこやかグループのブランドをさらに高めていきたいと思っております。そして、社員一人ひとりが夢と誇りを持てる会社を創造していきます。

沖縄アリーナを核とした街づくり 輝きを放つ沖縄市を共に創造しよう！

すこやかグループでは2023年7月開業を目指し、ホテル・コンビニエンスストア・駐車場をコザ運動公園サッカー場跡地に整備するプロジェクトを始動しました。

すこやかグループの本社が所在する沖縄市は、那覇市に次いで人口の多い都市で、県内でも特にアメリカ文化を強く受けたエリアで独特の雰囲気や文化に触れる事ができます。エイサーや音楽などの芸能文化も栄え、現在ではスポーツ振興をきっかけ、琉球ゴールデンキングスとFC琉球のホームタウン、バナソニックバンサーズのサブホームタウン、広島東洋カープのキャンプ地となっており、スポーツを通してさらに賑わいが生まれています。更なる魅力向上の追い風として、沖縄最大の多目的施設「沖縄アリーナ」が開業しました。多様なエンタテインメントが体感できる施設ができ、県内外からの注目と期待を集めています。一方で宿泊施設不足により国内観光客やインバウンドの沖縄市への滞在時間・滞在日数が短い事が課題となっております。当社が宿泊施設を構える事で、滞在期間が延び、地域への新たな経済効果が期待されます。コザ運動公園と沖縄アリーナを中心に、沖縄市の活気と文化を県内外に伝え、沖縄市の経済活性化やスポーツ交流の創出に寄与していきたいと考えております。

私たちは、『創造と奉仕』の理念のもと、38年間地域とともに歩んで参りました。沖縄をより豊かにしていく為に、これからも安全・安心・快適を提供し、地域と共に歩み続けて行きたいと考えています。

「輝きを放つ沖縄市」さらには「豊かな沖縄」を、すこやかグループ一丸となって創造していきましょう。



令和2年10月にPark-PFI(公募設置管理制度)のプロポーザル型公募に対し、当社にて宿泊施設・コンビニエンスストア・駐車場を整備する提案を行い、令和3年2月優れた提案として採択されました。

Park-PFI(パークピーエフアイ)とは…?

都市公園において飲食店、売店等の公園利用者の利便性の向上に資する公園施設(公募対象公園施設)の設置と、その設置した施設から得られる収益を活用して、その周辺の園路、広場等の公園施設設備や、改修等を一体的に行う民間事業者を公募により選定する制度です。



沖縄に愛と
すこやかを届けたい♡

MESSAGE


取締役 副社長 桃原 早香

今年、東日本大震災からちょうど10年目を迎える年となりました。災害の中で私たちは医療人として、社会人として、何が出来るのか？何を求められているのかを改めて考える機会となりました。10年前、東日本大震災の1週間後、宮城県気仙沼の被災地へ入り物品の配達や薬剤師として応援に入りました。その際、強烈に感じたことは、「医療は止められない」という事です。当時勤務する医師も薬剤師も自らの食料や住まいが不安定な状況下にもかかわらず、弱音を吐く事なく目の前の患者様に必死に向き合う姿がありました。今もまさに新型コロナウイルスのパンデミックの中、医療を継続し、目の前にいる人の不安を少しでも取り除くことが我々の使命です。医療、介護、保育、サロン、IT、多種多様な職種と専門家の集団だからこそ、すこやかグループにしかできない事があると考えています。

創造と奉仕の理念のもと地域のこと、共に働く仲間のこと、目の前のお客様に関心を持ち、相手が感動するほどのサービスを表現し続けることこそが、私たちが一人ひとりが求められる存在になる一歩です。

変化の激しい社会ですが、やるべきことは一つ！

一人ひとりが未来を描き、すこやかグループしかできないサービスで人々を感動させる！そしていつか私たちの強みが世界の役に立つ未来を創造し共に成長していきましょう。



全員がワークに
夢を描ける会社にして。

MESSAGE

取締役 佐野 浩敏

38期は新部署の設置、組織再編による部署の統合、人の異動が行われました。

変化を恐れずチャレンジし、各々が各持ち場で力を発揮していくことを期待しています。

企業の成長の原点は「人」でありそれが原動力と思います。我社は人との繋がりや強い絆によって支えられ成長し今日があります。

皆さんと働き方について共有したいのは「思いやりのあるコミュニケーション」です。多様な意見に傾聴し、人との絆をさらに強くし、組織全体の業務がスムーズに運営できるよう社員一人ひとりが「思いやりのあるコミュニケーション」を心がけましょう。

そして世の中や顧客の変化を敏感に感じ取り、議論し、速やかに対応できる自律的な組織をつくり、会社のいたるところから様々なアイデアが生まれ、スピーディに行動できる会社であり続けたいと考えています。そして、これからも地域に必要とされる企業であり続けるために、働くことの喜びを感じながら社員・役員が心一つに経営理念「創造と奉仕」のもと、共に成長していきましょう。

心からの感謝を
優しさと強さを両立
すこやかメンバーへ。

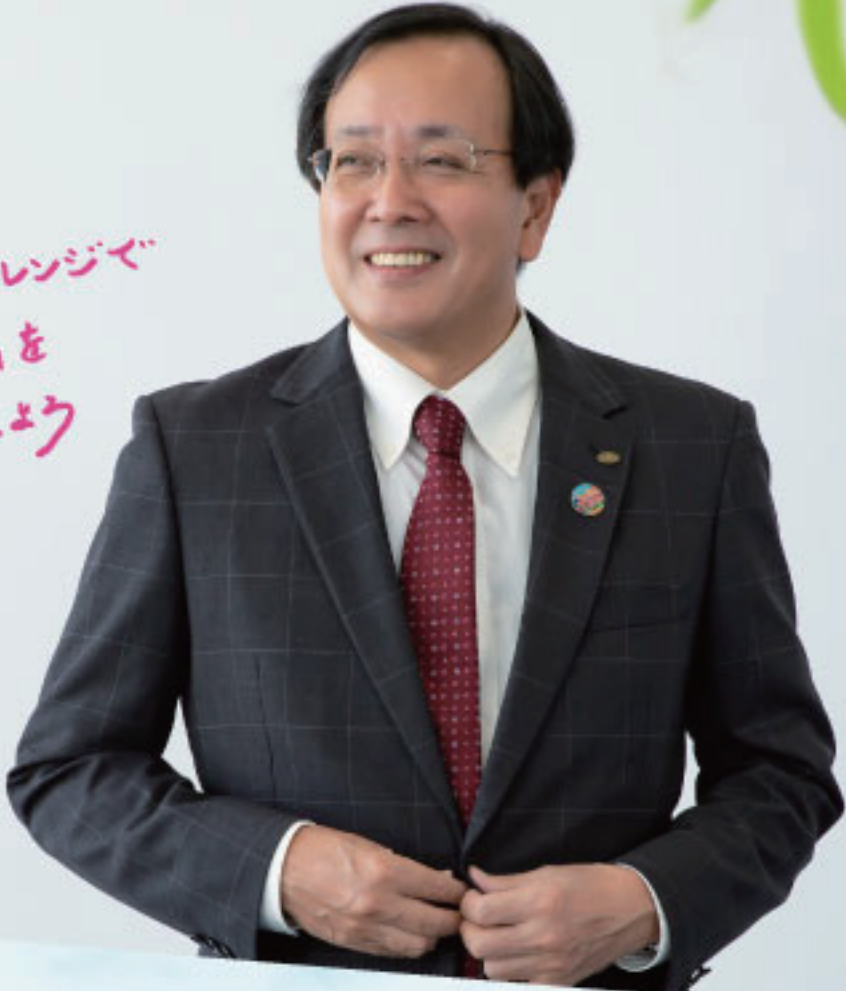
MESSAGE

専務取締役 佐藤 雅美

Zoom会議が日常になり皆さんと会う機会がグッと減ったこの時期に、令和3年度の経営報告会がリアルで開催される事を大変嬉しく思います。人と会って話をする事は実はとても贅沢な事だったと、この1年思い知らされました。

また、公衆衛生に全国民（いや全世界）が関心を持った年も、これまでに無かったのではないのでしょうか。特に、薬局スタッフ・薬剤師、介護、保育園のメンバーはその先頭に立ち、地域住民へ感染予防の指導・アドバイスを日々行って頂きました。若いスタッフのプロとしての覚悟を持った頼もしい姿に、驚かされる事も何度かありました。

Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取って「VUCA」（ブーカ）と言われる今の時代。予測困難で対処に苦慮し、これまでの体験経験、価値観だけでは乗り越える事が難しくなっています。そんな時代だからこそ、多様性を持った仲間が集まり、互いにアイデアを出し合い、地域の抱えている課題を解決していきましょう。
強さと優しさを持った「すこやか」のメンバーに心からの「有難う」と、皆さんと共に歩んでいける事を改めて感謝致します。



新たな発想とチャレンジで
「ワクワクドキドキ」を
業に体現しましょう

MESSAGE

専務取締役 知念八寿夫

新型コロナウイルスの猛威により社会全体が揺り動かされ、生活様式や、経済環境に大きな影響を与えてきました。ワクチンの接種が加速度的に進められていますが、収束後も完全に元の状態に戻ることはなく経済の回復には数年を要すると言われていています。そのような環境下においても、楽しみ需要による食品スーパーや宅配事業、ゲーム機器メーカーなど業績が伸びた業種、企業も多数存在します。すこやかグループにおいても今後3年以内に中核事業の調剤薬局の新規出店や、ホテル事業、不動産事業、コンビニ事業等、事業の多角化を進め、社会環境、経済環境の変化へ柔軟に対応できる企業、組織を構築していきます。私たちが組織で仕事をしていく中で、心的幸福感、満足感を得るには「幸せの4つの因子」があると言われています。

1つ目は「やってみよう」とする「自己実現と成長の因子」です。

2つ目は「つながりと感謝の因子」で「ありがとう因子」といえます。

3つ目は「何とかなる」と考える「前向きと楽観の因子」です。

4つ目は「独立と自分らしさの因子」で自分軸をしっかり持つことです。

これらの因子を満たしている人は幸せです。「ワクワクとドキドキ」感を持って業務に取り組むことで4つの因子を満たし、現状を乗り越え役職員の「幸せ」と「地域への貢献」「会社の発展」へ向け共に邁進してまいりましょう。

思いを伝え合い
寄り添いあう
チームになろう。



MESSAGE

常務取締役 古堅 春樹

コロナウイルスは、今もなお全世界の様々な場面で猛威を振るっています。一方、日本でもSDGsへの意識が強まり、私たちは世界・地球へと視点を広げるべき時を迎えています。

会社内も役員は7名構成となり、組織も未来創造室・在宅推進室、人事部など新たな部署も新設されました。皆さんがより働き甲斐・やりがいを感じるような体制づくりと未来を見据えて考働する組織づくりを進めています。

沖縄を豊かにする企業となるためにも、経営方針にあるように会社・社員全員が一つとなる必要があります。

経営理念の実現を目指し、皆でマクロとミクロな視点で物事を捉え未来に向かっていきましょう。必要なのは、「伝え合い、寄り添う」ということ。

誰にも、「寄り添う」時、「寄り添ってもらう」時があります。どちらも「伝え合ってこそ」。お互いを思いやりながら仕事を進めてまいりましょう。そんな毎日が、私たちの夢を実現へとつないでいきます。



波風を笑って乗りきる
心意気で元氣な会社づくり!!

MESSAGE

取締役 宮里敏夫

兄弟会社として「薬正堂」と合併して、10年が経過しました。株式会社ジーエヌエーは、システム構築やネットワークを得意とするIT企業です。これまでお世話になった「すこやかグループ」をサポートする意味での合併でした。もちろん、ジーエヌエーにとってもこの期間は大きく飛躍できた年月でもありました。さらに、今後もIT企業としての強みを活かし貢献できればと思います。また、調剤事業についてはまったくのシロウトな私でしたが、役員他社員の皆様からも多くの学びをいただきました。心から感謝申し上げます。特に、約五年間、管理部統括を担当している際には、業務の効率化への取り組み、会社の規則や規程の見直し、日々起こってくる出来事への対応など、これまで以上に様々な体験をさせていただきました。

今年度は、内部統制室として薬機法改正へ対応したガバナンスの強化や購買内部統制などの体制の強化に取り組んでおります。今回のコロナ禍で人々の行動が変容し調剤薬局の有り様も、ITやAIを中心にオンライン診療、投薬や業務の属人化からの脱皮など加速度的に変化していくことでしょう。その変化に柔軟に対応すべく心と技術を磨いてください。

そして、「波風を笑って乗り切る心意気!!」でチーム力を活かし、揚々と乗り切っていきましょう。

We are SUKO



代表取締役 宮里 敏行

Q. 休日の過ごし方は？

A. ゴルフ、サウナ、読書

Q. 将来の夢は？

A. エイジシュート達成！

Q. 好きな言葉は？

A. 一期一会

知念先生との出会いが
人生の分岐点



取締役副社長 桃原 早香

Q. 休日の過ごし方は？

A. 6歳の娘・4歳の息子と
ワイワイ過ごしています

Q. 将来の夢は？

A. 沖縄アリーナで歌う！

Q. 好きな言葉は？

A. 一寸千貫

あの頃の社長と私



専務取締役 宮里 浩敏

Q. 休日の過ごし方は？

A. ゴルフ、腰が痛くてもゴルフ、
ゴルフがない日はゆっくりと…

Q. 将来の夢は？

A. 日本各地をゆっくりと旅行する

Q. 好きな言葉は？

A. 感・即・動 (芳村愚風)
「感じたら直ぐに(即)動く」
「感じさせることで人は動く」

覆せてたなあ～



YAKA GROUP!



専務取締役 佐藤雅美

- Q.** 休日の過ごし方は？
A. 庭の芝刈り。念願の芝刈り機を手に入れ「無心」で芝を刈ります。
- Q.** 将来の夢は？
A. 自分で育てた琉球藍で藍染をすること
- Q.** 好きな言葉は？
A. 言行一致

三姉妹の三女です！



専務取締役 知念八寿夫

- Q.** 休日の過ごし方は？
A. シルバー割引の映画鑑賞。時々ゴルフ。
- Q.** 将来の夢は？
A. ビンビンコロリ (夢というよりは願望)
- Q.** 好きな言葉は？
A. 足らざるを知る (知不足)

上京を夢見て…☆
 (大学は弁護士を目指し法学部へ)



常務取締役 古堅春樹

- Q.** 休日の過ごし方は？
A. そうじに始まり、時に洗車をはきみながら、そうじ。極まれにポーっとする。
- Q.** 実は…？
A. なちぶうーです。ドラえもんでも号泣します。
- Q.** 好きな言葉は？
A. 大好き

今と変わらず
 可愛いでしょ〜♡



取締役 宮里敏夫

- Q.** 休日の過ごし方は？
A. ジェフリー・ディーヴァー著の読破と友人と囲碁対局
- Q.** 将来の夢は？
A. すべての県内離島を旅行
- Q.** 好きな言葉は？
A. 山椒小粒でピリリと辛い！

学習院大学時代、塾生と共に
 鹿野味村キャンプへ
 向かう船上にて。



make happy

すこやかグループは
創業38年目を迎えました。
これまでも、これからも
「創造と奉仕」の理念のもと、
地域、世界の課題に関心を持ち
関わるすべての人に笑顔と癒しを届け
キラキラした明るい未来を
共に創り上げていきましょう。
沖縄に愛とすこやかを

 **すこやかグループ**

